

広川町「第2次稲むらの火のまち創生総合戦略」の概要

総合戦略とは：人口ビジョンの達成を目指して、町が取り組む施策をの方向性を行政・町民が共有するための計画です。計画期間は令和2年度から令和6年度までの5年間です。

◆めざすまちづくり◆

「稲むらの火」の話は、広川町の郷土の誇りとして住民に共有され、また、これまでのまちづくりに活かされてきました。今後も濱口梧陵翁が広川町の未来に託した志に学び、住民が主体的に地域課題の解決に取り組み、お互いに助け合い、安心して暮らせるまち、豊かな自然や歴史・文化を守り、後世に引き継ぐとともに、未来に向かって発展するまちをめざします。そして、明日の広川町を担う子どもたちという人材の育成と町内の様々な地域資源の活用・連携により、住む人、訪れる人みんなの笑顔があふれる、いきいきとした「まち」をめざします。

◆5つの基本目標に基づく施策◆

下線：記載内容に改訂のあったもの

拡充：特に内容の充実を図ったもの

新規：新規に項目を加えたもの

基本目標 1

梧陵翁の意を継ぎ雇用を創出する

施策 1 雇用の創出と充実

○雇用の促進、就業に向けた支援の充実 **拡充**

施策 2 農業の振興

○農業生産基盤と施設の整備、農村地域の活性化
○農産物の生産体制、販売力の強化と農業経営環境の向上
○新規就農者の獲得 **拡充**

施策 3 林業の振興

○林業環境の整備
○森林利用の促進

施策 4 水産業の振興

○水産基盤・共同利用施設の整備
○資源培養管理型漁業の推進
○漁業後継者の育成
○観光漁業の推進

施策 5 商工業の振興

○商業経営基盤の整備 **拡充**
○地場産業・既存工業の振興

施策 6 観光の振興

○観光振興体制の強化
○観光としての都市農村交流 **拡充**
○稲むらの火の館を起点とした観光 **新規**
○稲むらの火の館を起点とした観光

基本目標 2

梧陵翁の意を継ぎみんなを故郷に留める

施策 1 交通機関や道路の整備

○幹線道路網、町道等域内道路網の整備
○鉄道及び路線バス等の利便性の向上 **拡充**

施策 2 住環境の整備と住宅地の開発

○地域活性化のための住環境整備と住宅地の開発 **拡充**
○安心して暮らせる住まいづくりと空き家対策

施策 3 ライフラインの充実

○水の安定供給のための施設・設備の計画管理と老朽化対策の実施
○情報通信基盤の確保 **新規**

施策 4 循環型社会の形成

○ごみ、し尿の適正処理によるクリーンなまちづくりとリサイクル循環型社会の形成
○合併浄化槽普及率の向上と適正な浄化槽維持管理の徹底

施策 5 町の魅力の情報発信

○各種媒体の活用による情報発信の強化

基本目標 3

梧陵翁の意を継ぎ子どもたちを育む

施策 1 子育て支援の推進

○子育て家庭の経済支援 **拡充**
○子どもの預かり、保育環境等の充実
○子育て中の親子の居場所・仲間づくり、子育て相談の充実
○子どもを「産み」「育てる」ための支援 **拡充**
○保護、援助を必要とする子どもや家庭への支援 **拡充**

施策 2 特色ある教育の推進と青少年健全育成の推進

○幼児、小・中学校教育の充実 **拡充**
○小・中学校の教育環境整備の推進 **拡充**
○特別支援教育の推進 **拡充**
○青少年健全育成の推進 **拡充**

基本目標 4

梧陵翁の意を継ぎ故郷を守る

施策 1 災害対策の充実

- 防災意識の高揚と防災体制の確立 **拡充**
- 防災に係る諸施設の整備 **拡充**
- 津波・高潮対策、急傾斜地・ため池・海岸保全及び改修 **拡充**

施策 2 消防・救急体制の充実

- 火災予防対策と消防体制の充実強化
- 救急救助体制の充実強化

施策 3 防犯対策・消費者保護の推進

- 防犯意識の高揚と防犯活動の推進・強化
- 消費者生活相談の充実と自立した消費者の育成と支援

施策 4 健康づくり推進と医療の充実

- 健康づくり推進の充実と健康相談・教育、住民健(検)診の推進

施策 5 高齢者の生活、障がいのある人の福祉の充実

- 高齢者の健康管理推進と介護保険事業の適正な実施 **拡充**
- 障がいのある人の福祉の充実と社会進出の支援 **拡充**

基本目標 5

梧陵翁の意を継ぎ協働の故郷を築く

施策 1 コミュニティ活動の活性化と住民参画・協働の推進

- コミュニティ活動の活性化と住民参画・協働の推進 **拡充**

施策 2 社会教育の推進

- 生涯学習、社会教育活動の充実 **拡充**

施策 3 芸術・文化活動の推進と歴史財産の保護・保全・継承

- 芸術・文化活動の推進
- 指定文化財、郷土芸能、歴史的景観の保護・保全・継承 **拡充**

◆濱口梧陵翁特別プロジェクト◆

プロジェクト実施の背景

- 「稲むらの火」の11月5日を「世界津波の日」とする国連決議
- 本町の防災遺産「百世の安堵」が日本遺産として認定
- 2020年は濱口梧陵翁生誕200年
→濱口梧陵翁の遺徳と偉業を世に知らしめ、広川町を津波防災・復興のシンボルタウンとする機会をとらえた事業が必要

プロジェクトのめざす目標

- ① 広川町の英雄、濱口梧陵翁の偉業と遺徳の発信
- ② 濱口梧陵翁の偉業に学ぶ防災教育の充実
- ③ 濱口梧陵翁の遺徳から防災文化を醸成する

プロジェクトの具体的な施策

- ① 稲むらの火のまちとしての情報発信の強化
- ② 梧陵翁の偉業と遺徳の継承と発信
- ③ 梧陵翁ゆかりの史跡の保存と関連施設の整備充実
- ④ 近隣自治体と連携したイベントの開催

全面改訂

◆総合戦略の推進◆

- 基本目標ごとに設定した数値目標、施策ごとに設定したKPI（重要業績指標）に基づき、取組の成果と課題を確かめながらPDC Aサイクルを踏まえた進捗管理を行います。
- 本総合戦略に基づき、特に重点的に実施する事業については「アクションプラン」を作成し、個別の進捗管理指標を設けて実施状況を毎年度検証することで、効果的な推進を図ります。
- 町民との協働、和歌山県との適正な役割分担と連携を図りつつ、広川町地方創生総合戦略策定委員会および関係機関の意見を踏まえた推進を図ります。

